

注目! まちの話題

旬の野菜の収穫体験
茨城を食べよう運動推進事業

市内農家の女性グループ「食遊三和」が、7月9日にとうもろこし収穫体験を開催。野菜を収穫してから食べるまでの過程を学び、旬の味を知るきっかけを作りたいという、食育にかけるメンバーの思いがたくさん詰まっています。

参加した68人の親子は、より大きく育ったとうもろこしを探して汗を流しました。収穫の後は、網焼きにしたとうもろこしを食べてみんな大満足。これからも色々な旬の野菜にチャレンジしてくださいね。



▲お母さんと一緒に収穫して「ハイ、チーズ!」。流した汗の分だけおいしく食べられたかな

古代にタイムスリップ!? 夏休みこども講座「勾玉づくり」



▲一生懸命に石を削る子どもたち。出来上がりが楽しみです

8月6日、燦SUN館(三和図書館資料館)で夏休みこども講座「まがたま勾玉づくり」が開催されました。市内の小学生24人が参加し、オリジナルの勾玉のネックレスを作りました。

印がついた石を2種類のやすりで一生懸命に削る子どもたち。勾玉特有の曲線に苦労しながらきれいに形作っていきます。最後に水につけながら削ると、ピカピカの勾玉が完成。ひもを通してネックレスにし、身に着けた姿はとても満足そうでした。

古代のアクセサリーだった勾玉。歴史を少し学んだ夏休みの一日となりました。

苦手な野菜も食べられたかな 親子料理教室



▲今日頑張ったことをおうちでもパパ・ママと一緒にやってみよう

8月8日、総和福祉センター「健康の駅」で古河市食生活改善推進協議会による親子料理教室が開かれました。

「楽しいお弁当作り」をテーマに、お弁当作りに大切な食材選びや衛生面の注意などの講義を受け、調理実習がスタート。野菜の皮むきやウインナーを包丁で切ったり、肉を巻いて焼いたり慣れない手つきで一生懸命調理し、7品のおかずを作りました。

最後は、食生活改善推進員からのスープとデザートプレゼントと共に自分で作ったお弁当をおいしく食べました。